

豊かで 住みよい 町づくり

議会だより



上 勝

かみかつ

6 月定例会

VoL. **26** 2007. 8. 1 発行

6月定例会	2 ▶ 3
一般質問	4 ▶ 8
委員会報告	9 ▶ 11

議会の動き	11
-------	----

写真で紹介 まちのようす	12
・編集後記	



平成19年6月 補正予算

一般会計
補正予算

1,621万7千円

(国文祭・社会福祉費・社会体育館修繕費等)

補正後
予算総額

24億3,221万7千円

第2回 定例会

会期 17日
開会 平成19年6月11日
閉会 平成19年6月27日

笠松町長から提案理由説明の後、
上勝町税条例の一部を改正する条例・財産区管理条例の制定・上勝町廃棄物処理及び再利用促進に関する条例の一部を改正する条例など条例の制定・改正議案について5件。
工事請負契約の承認について1件。
平成18年度上勝町一般会計補正予算専決承認・平成19年度上勝町一般会計補正予算など補正予算について6件。
財産区管理条例管理委員の選任同意について1件。
平成18年度上勝町一般会計繰越明許費繰越の報告など会計報告について2件。
株式会社かみかついきゅうの経営状況など第3セクター等の経営状況報告について6件。
寄付の申し立ての報告について1件。
全22件の提案及び報告があり、それぞれ審議の結果原案どおり可決・承認・同意しました。

財産区管理条例管理委員の選任について

財産区議会を解散し、新たに財産区管理会として発足。名推薦により次の方の選任に同意。

任期 自 19年8月15日
至 23年8月14日

(敬称略・期別年齢順)

上勝町高鉾財産区管理会管理委員 (5人)

柳谷政照・山下俊洋
西野志津夫・伊井重夫
小西亀太郎

上勝町福原財産区管理会管理委員 (6人)

関 久夫・平間敏男
大滝美昌・平井眞夫
関 康昭・岸 衛



若者住宅・教員住宅 工事中



若者住宅・教員住宅 起工式

6月定例会の一般質問には
5人が質問しました。

一般質問

町政を問う



阪松明義 議員

国民文化祭後の 維持管理は

問

国民文化祭終了後の維持管理は、

これまで多くの住民の方々のボランティアをいただきまして、ありがとうございます。各地区とも材料についてはめぐりついで来たと思っております。今後の維持管理については草の管理が一番の問題になってくると思っております。草の生えにくい処置を今後検討する。10年という長い期間ですの

答 産業課長

で、地域の方も高齢になってくることもあり、作品自体も多少いたんでくるので状況に合わせて地域の方と相談する以外に今は手がありません。かと思っております。

問

里道（赤線）の補修はどうか。

答 建設課長

榎原地区の（赤線）里道についてはかなり荒れています。下にちょうど榎原谷川がありますが、榎原谷は河川自体が県管理河川であり、河川の災害復旧等県当局とも相談して要望していきたい。里道が大変危険であるということ、早急に現場を確認して看板等、できるだけ対応していきたい。

問

ペイオフ解禁後の資金運用は。

決済用普通預金とは無利息です。ペイオフ解禁後においても元金保証されていることです。安全を最優先しており、行政の資金運用として基本とせざるを得ない現在多くの資金を預かっております以上、何らかの運用を確保したいと思っておりますが、まだこれといったものは見つかっていない。現在の預金残額ですが、5月末の基金は次のとおりということで基金総額が32億3,900万円、そのうち定期預金7億7,500万円、決済預金24億6,400万円、徳島銀行定期預金2億4,100万円、決済預金16億3,800万円、JA東とくしま定期預金5億2,400万円、決済預金8億2,600万円、阿波銀行1,000万円。これ以外に各会計ごとの運用資金として2億3,500万円が決済用預金ということで運用している。

答 会計管理者

福祉の心を町政に

憲法九条を守る

問 憲法九条は変えない方がよいか、変えた方がよいか。

答 町長

憲法九条に書かれていることは素晴らしい。戦後一回も戦争をしなかったのは、この憲法のおかげだと思う。ただ、日本が攻撃を受けた場合、自衛隊が交戦し国土を守

る。私は、九条に第3項を設けて、それを追加してはと考えている。

消えた国民年金

問

国民年金料を納付しながら、支給につながらない大問題。町において何名いるか。また、書類の保管状況はどうか。

答 住民課長

住基ネットをリンクさせれば簡単に出来るのではないか。

答 住民課長

社会保険庁に問い合わせよ、との質問だが、今パニックだ。町村単位の問題合わせには、応じられない状態ではない。

答 住民課長

ハシカの流行状況を把握しているか。ワクチンの準備状況、予防接種計画は。

問

ハシカの流行は、東関東を中心に全国で百四十三校が休校・学級閉鎖は百九十一校。患者数千七百七十一人だ。本県では小児十八人がかかった。ワクチンの入荷がストップし、一部対象者で入荷待ちとなっている。今年秋に入荷予定である。県と相談し、成人にも接種するか考える。

ケーブルテレビ、 まだ問題あり

問

IRU契約は本来ケーブル心線貸しが目的である。町は機器も建設も丸ごと貸している。行政財産に私権を設けている。また、賃貸料に減価償却費を抜き損をしている。

答 町長

低所得者層で利用料の払えない人は、生活相対的な事をしていく。減免制度は、今後の状況をみて検討したい。

答 町長

「物品」と認識している。違反とは考えていない。減価償却費を取ると、月額料金が上がる。勝浦町と協議した。

明本恵一 議員

ハシカ予防



藤田欣宏 議員

頑張る地方 応援プログラムとは？

問

テレビ、インターネット等で公開されていたが、上勝アートプロジェクトをはじめ、6事業を申請していたが。

答 町長

バス関係の1事業は適当でなからうかというところで5事業になった。①上勝アートプロジェクト〜里山の彩生②上勝町森林農地適正管理プロジェクト③上勝町高齢者情報リテラシー向上プロジェクト④文化的景観「檜原の棚田」を守り、活かすプロジェクト⑤魅力ある若者生活づくりプロジェクト

頑張る地方については、3,000万円まで今年から3年間、特別交付税がある。

問

国民文化祭において交流人口が2万人とあるが。

答 町長

開催期間中に1万人を想定しており、その後3月末迄いけば倍の効果が2万人を想定している。

上勝町出身の 団塊世代の 受け入れを

問

町内で親のみの世帯、後継者がいる世帯、空家状態の世帯、不在地主の数は現在どのくらい。

答 町長

親のみの世帯は364世帯。後継者がいる世帯は徳島や東京等にいる人上勝にいるから後継者だと思っ人で明確にならない。空家調査はしているが、把握できていない。不在地主の数は1,000人いる。

問

5年後、10年後をどのように想定しているか。

答 町長

将来どうなるかについて今のところ想定できていない。

問

上勝町出身の団塊世代者に呼びかけ等しては。

答 町長

ご家庭の方に働きかけていきたい。直接団塊世代の町出身者に働きかける考えはない。

あさひ町営住宅の動き

問

このことについての進捗状況は、あさひ町営住宅関係地権者周辺関係者のご承諾はいただいております。関係者のご理解がいただければ用地についても先行投資する。と理解しておりますが、その後の姿が見えてこない。

答 町長

用地関係者、周辺関係者のお話が出来れば、先行投資をしてもよい、このように答弁しました。

代替用地等も出来たようでございますので、具体的に測量にはいりたいのですが、国文祭もありまして調査に入れないのが実態であります。住宅計画については平成21年度計画をしております。

も半分ですむ。この際消防道の併設を強く希望しお考えをいただきます。

答 町長

消防道とすれば、まず常時駐車のこと第一条件となり、進入道となれば諸々の条件がともないです。道路縦断のことも出てまいります。測量も終わった段階でないと判断も出来ませんので、測量が終わった時点で地元の方と検討しながら、最終的に結論をださせていただきます。

問

水があっても使えない 予定されている町営住宅、旭商店街の益を二分すれば事業費

水があっても使えない



西浦光信 議員



問

土石流災害防止については谷川には神田蔭谷、檜原谷において砂防堰堤が布設されており、旭川等にはその対策がされておらず、関係者から土石の堆積、護岸の崩壊がいたるところにみられます。もし上流でまとまった雨が合った場合、予期せぬ災害が考え

土石流災害から住民を守る



られます。この際関係機関に協力を求め調査、管理をされてはいいかがですか。

答 町長

このことについては先般の町政懇談会で地域から要請があったので、土木事務所、具議等々と段取りをしている。



多田 和幸 議員

どうなる住民の足？

問 町営バス大北線の平成20年度以降の計画はどのようになっているか。

答 教育委員会事務局長
利用者が少ないので、大北線の廃止または減便も含めて検討しそれに伴う有償ボランティアが利用できないか検討中である。

問 中学校の新ストロブの薪はどのように調達するのか。

答 教育委員会事務局長
環境教育の一環として、生徒、先生、保護者が薪をつくる。

答 町長
いろいろ勉強させていただきましたが、地方自治法随意契約には該当しない。



問 町道剣山線の未舗装区間の本年度の整備計画はどのようになっているか。

答 建設課長
本年度は整備する見込みはない。

問 町道舗装の材料支給、予算が少なすぎる。補正予算を組んではどうか。

答 町長
生活道については意向に沿うよう努力したい。

問 林道大川原旭丸線旭丸工区はどのようになっているか。

答 建設課長
用地交渉が難航し休止状態である。



森の泉

第3セクター君田21が経営する温泉(森の泉)は年間20万人、施設全体では30万人の来場者があり、三セク事業の成功例として、全国から注目されている。この経営方法について研修したので、その一部を紹介する。

まず住民が株主の温泉君田21(トウエンティワン)にあつては、昭和63年ふるさと創生1億円の交付を機に、住民参画の地域づくりが芽生える。温泉はふるさと創生の1億円でボーリングをして温泉源を確保した。また地域の資源を生かして住民がだれでも参加、利用できるものをつくること、地域特産品販売を併設した。温泉の来場者は、計画では200人を見込んでいたが現状では600人に達している。来場者のアンケートを見ると70%はリピーター(再利用者)、週に5回という常連客もいる。

なにごとをお客さんをつくるのかサービスクア?笑顔か?湯の質か?誠意か?

社員の意識改革

・管理者は自ら動け
・タイムカードを押すことが仕事を

- ・していることではない
- ・時間にゆとりをもつて出勤、朝のゆとりが一日の全てを変える
- ・常にお客さんの側に立つて対応、ほやけんどーは通用しない
- ・人とのまじわり
- ・こともでない、知らないは禁句
- ・だとか
- ・多くの課題を残して研修を終えた
- ・がその日、月ヶ谷温泉職員の方と合同で勉強出来たことはすごく意味があった。

(西浦)

期日：平成19年6月4日
場所：広島県三次市君田町
株式会社君田21(森の泉)



大国竹取物語

島根県大田市仁摩町大国の竹取物語(株)を訪れ、視察研修しました。会社の名前は「大国竹取物語」ここは、生えすぎる竹と、まだまだ頑張れると、高齢者が元気に活動しています。竹に秘められたパワーを有効活用しようという試みが始まっていて、7人の社員があり、平均年齢は62歳です。町内の由緒ある歴史建物に竹が迫り困っているのをきいて、竹取のボランティアを買って出た高齢者有志が竹を切って環境整備したのが始まりです。切った竹を何とかして有効活用出来ないかとアイデアを出し合っていて、竹をチップにして牛糞を混ぜあわせ、袋詰めにして発売するまでになっています。コンクリートに入れて歩道に使用したり、煉瓦状に固めたり、いろいろと有用な製品を試作中です。今



ではインターネット上に活動を紹介したため、「全国から視察に来る」とスタッフ達は胸を張っています。

(明本)

期日：平成19年6月5日
場所：島根県大田市仁摩町

道路整備は

学校訪問

給食センター新田栄養士より説明を受ける。委員住宅の現状を教育委員会より現場説明あり、いろいろ保育園、幼稚園、上勝小学校各学年授業参観のあと、大久保校長外先生方より要望等を聞く。

午後、上勝中学校で昼食。各学年授業参観のあと、吉岡校長外先生方より要望等を聞く。学童保育あすなろでは補助員が退職するので後任が必要なので心配していることでした。

(阪松)



期日：平成19年5月30日

水源の里条例

綾部市上林地域振興支援センターで市議会議長、川北淳氏より挨拶があり、支援センター長 西川卓男氏から、水源の里条例制定について説明をうけたあと、上林地区内を視察。福井県境に近い地区では、高齢化が進み、昭和1ケタの人々が地区を支えており、後継者がいない。携帯電話もNTTに使えるように陳情しているが、現在まだ圏外であって通信に支障をきたしている。これらをつまえて集落の過疎化に歯止めをかけることを目的に創設された。水源の里条例で平成19年4月から施行、この条例は1条から14条で5年間の時限で制定。

本町も高齢化が進み集落自体存続が難しい状況で地域活力が低下するのでないか。

(阪松)



期日：平成19年6月7日
場所：京都府綾部市

防災知識の習得を行う

防災センターは三木総合防災公園(308h)内にあり、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ安心とゆとりを基本とした県域の総合的な防災拠点としての機能を持つ災害時の主な利用方法、陸上競技場のバックスタンド、サイドスタンドの下は災害時に対応するための備蓄倉庫に(被災者用)(救助用資機材)(広域防災拠点運営用)野球場(臨時ヘリポート)等職員の説明を受ける。煙避難体験もあり、暗い中での煙にまかれて方向がわからない体験もした。

(阪松)



期日：平成19年6月8日
場所：兵庫県三木市
兵庫県広域防災センター

議会の動き

4月

- 4日 議会広報調査特別委員会(議会だより編集)
- 10日 議会広報調査特別委員会(議会だより編集)
- 12日 勝名地区町村議会議長会総会(勝浦町)
- 17日 議会広報調査特別委員会(議会だより編集)
- 24日 議会広報調査特別委員会(議会だより編集)
- 総務常任委員会(学校訪問視察研修について、他)

5月

- 7日 産業建設常任委員会(町内産業視察、視察研修について、他)
- 14日 郡町村会総会(上勝町)
- 23~25日 勝名議長会研修(北海道東川町、長沼町)
- 30日 総務常任委員会(学校等施設訪問)

6月

- 4~5日 産業建設常任委員会研修(広島県三次市、島根県大田市)
- 6日 議会運営委員会(第2回定例会について、他)
- 7~8日 総務常任委員会研修(京都府綾部市、兵庫県三木市)
- 11日 第2回定例議会第1日(開会)
議会全員協議会(国文祭、財産区管理会について、他)
- 13日 議会全員協議会(第3セクターの決算報告について、他)
- 19日 第2回定例議会第2日
議会全員協議会(防災基金条例、廃棄物処理・条例について、他)
- 25日 第2回定例議会第3日
議会広報調査特別委員会(議会だより編集日程について、他)
- 27日 第2回定例議会第4日(閉会)
- 29日 県町村議会議長会臨時総会(徳島市)

徳島県町村議会議長会副会長に高橋議長が就任

(平成19年6月29日)



写真で紹介 まちのようす



町内一斉掃除 (旭)



県道16号線 (福川工区)



濁水 (7月上旬)



台風4号の爪痕 (柵瀬)



花木組合 園地視察 (正木)



ハランのカット状況

雨、降らんのう、水あるか。今年は異常気象で町内各地区で田んぼ、飲料水不足が生じている。

6月29日、南岡地区で若者住宅教員住宅の起工式があり、若者確保に一歩進むかな。盆も近づき暑い中、町民の皆様も体を大切に。

(阪松)

編集後記



1Q運動会活動